

事業番号	11 05 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課		
		実施期間	R3 ~	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化						

## 1 現状と課題

令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年豪雨災害が激甚化・頻発化している。被害軽減のため、流域全体で治水対策を実施する流域治水の取組拡大が必要である。

## 2 事業目的

洪水による被害を軽減するため、河川管理者のみならず市町村、民間事業者、県民など流域のあらゆる関係者が協働する取組の拡大を目指す。

## 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

### ① 雨水貯留タンクの設置

流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、県有施設の屋根等に降った雨を貯留するため、雨樋下に雨水を貯留するタンク等を設置。

### ② 流域治水事業に係る普及啓発

流域治水の取組を普及するため、啓発番組の放送、シンポジウム等を実施。



治水OneNagno宣言



テレビCM等



シンポジウム



タンク設置（長野保健所）

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	雨水タンクの設置（累計）	箇所	—	89	—	182	↗	177	達成	長野県流域治水推進計画において、R7年度までに439基設置が目標であるため、R4年度は88箇所設置を目標とした。	

## 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	3,556	21,617	1,229	26,402	1,156	16,988	2.4
R3年度	0	22,467	0	22,467	5,467	18,911	2.4
R2年度	0	0	0	0	0	0	0.0

事業番号	11 05 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	流域治水対策に関する事業		部局	建設部	課・室	河川課

## 6 主な取組実績と成果

### ① 雨水貯留タンクの設置

・県有施設に雨水貯留タンクを93箇所設置し、「留める」取組を推進。



タンク設置（長野県営上田球場）

### ② 流域治水事業に係る普及啓発

・6月にポスター掲示、10月にテレビCM放送、12月にラジオ放送を行い、流域治水の取組を促すための啓発活動を実施した。  
 ・天竜川水系では住民や自治体を対象に、流域治水の事例や取組を紹介するため天竜川水系シンポジウムを12月に開催した。  
 ・千曲川水系では流域治水を本格的に展開するため、新潟県・長野県の首長等が一堂に会し、上下流一体で課題や取組を共有する千曲川流域治水サミットを1月に開催した。



シンポジウム(R4.12.22)



千曲川流域治水サミット（R5.1.30）

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	雨水タンクの設置（累計）	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
寄附金を活用したことにより、設置箇所数は目標値の88箇所を上回る93箇所となった。							
指標②		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標③		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・市町村や民間事業者、県民などが協働する取組を促進するため、引き続き県が率先して雨水貯留タンクの設置を推進する必要がある。  
 ・現状、「流域治水」の取組が広く民間事業者や県民などに浸透しているとは言い難く、継続して普及啓発活動を実施していく必要がある。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

・雨水貯留タンクの設置について、引き続き県有施設への設置を進め、R7年度までに439基の設置を目指す。  
 ・普及啓発について、ポスター制作と合わせ、視覚的にわかるよう模型を製作し、小学生の総合学習等で活用できるよう動画作成を行う。

事業番号 11 05 04 **細事業一覧（令和4年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	<b>流域治水対策に関する事業</b>	部局	建設部	課・室	河川課
-----	---------------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>1</b>	<b>流域治水推進事業</b>		0 千円	18,911 千円	16,988 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	雨水貯留タンク設置事業	直接	流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、一旦「貯留」することにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置推進」するため、雨水貯留タンクを設置 設置箇所 93箇所		
2	流域治水事業に係る普及啓発事業	直接	民間事業者・県民に対するの普及啓発を継続して行い、「流域治水」の重要性を周知し、雨水貯留等の取組推進につなげる 実施箇所 テレビCM放送、天竜川水系流域治水シンポジウム、千曲川流域治水サミット		